

木曾川水系連絡導水路事業 環境レポート（案）

2分冊の1

平成21年7月

独立行政法人水資源機構

はじめに

本「環境レポート(案)」は、木曽川水系連絡導水路事業に係る環境影響検討の結果について、独立行政法人水資源機構が国土交通省中部地方整備局の協力を得ながらとりまとめたものです。

環境影響検討にあたっては、学識者により構成される木曽川水系連絡導水路環境検討会において、指導・助言をいただきながら進めてまいりました。

今後、関係する地域の方々や自治体から本「環境レポート(案)」に対する意見を伺い、必要な検討を行った後、「環境レポート」としてとりまとめ、公表していきます。

なお、本「環境レポート(案)」の作成にあたっては、現時点における施設設計及び施工計画をもとに環境影響検討を行っており、個別施設の位置等については掲載可能な範囲で示しております。

木曽川水系連絡導水路事業 環境レポート(案)

本「環境レポート(案)」は製本の都合上2分冊になっております。
本書「環境レポート(案)(2分冊の1)」には、第1章～第6章を所収し、「環境レポート(案)(2分冊の2)」には、参考資料を記載しております。

<目次>

はじめに

第1章 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地	1-1
1.1 事業者の名称及び代表者の氏名	1-1
1.2 事業者の主たる事務所の所在地	1-1
第2章 事業の目的及び概要	2-1
2.1 事業の目的	2-1
2.2 事業の概要	2-2
第3章 木曽川水系連絡導水路周辺の概況	3-1
3.1 地域の自然的状況	3-1
(1)大気環境の状況	3-3
(2)水環境(水質)の状況	3-8
(3)土壌及び地盤の状況	3-15
(4)地形及び地質の状況	3-17
(5)動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況	3-20
(6)景観及び人と自然との触れ合いの活動の状況	3-26
3.2 地域の社会的状況	3-29
(1)人口及び産業の状況	3-31
(2)土地利用の状況	3-38
(3)河川、湖沼及び地下水の利用の状況	3-39
(4)交通の状況	3-39
(5)学校、病院等の配置の状況及び住宅の配置の概況	3-39
(6)下水道の整備の状況	3-40
(7)法令等の規制の状況	3-41
第4章 「環境レポート(検討項目・手法編)」についての意見と事業者の見解	4-1
第5章 環境影響検討の項目	5-1
5.1 環境影響検討の項目	5-1
5.2 環境影響検討の項目の選定理由	5-2
第6章 環境影響検討の結果	6.1.1-1
6.1 調査の結果の概要並びに予測及び評価の結果	6.1.1-1
6.1.1 大気質(粉じん等)	6.1.1-1
(1)調査の手法	6.1.1-1
(2)調査結果の概要	6.1.1-3
(3)予測の手法	6.1.1-4

(4) 予測の結果	6.1.1-7
(5) 環境保全措置の検討	6.1.1-8
(6) 事後調査	6.1.1-10
(7) 評価の手法	6.1.1-10
(8) 評価の結果	6.1.1-10
6.1.2 騒音	6.1.2-1
(1) 調査の手法	6.1.2-1
(2) 調査結果の概要	6.1.2-4
(3) 予測の手法	6.1.2-6
(4) 予測の結果	6.1.2-10
(5) 環境保全措置の検討	6.1.2-11
(6) 事後調査	6.1.2-13
(7) 評価の手法	6.1.2-14
(8) 評価の結果	6.1.2-14
6.1.3 振動	6.1.3-1
(1) 調査の手法	6.1.3-1
(2) 調査結果の概要	6.1.3-3
(3) 予測の手法	6.1.3-4
(4) 予測の結果	6.1.3-8
(5) 環境保全措置の検討	6.1.3-9
(6) 事後調査	6.1.3-12
(7) 評価の手法	6.1.3-12
(8) 評価の結果	6.1.3-12
6.1.4 水環境(水質)	6.1.4-1
(1) 調査の手法	6.1.4-4
(2) 調査結果の概要	6.1.4-7
(3) 予測の手法及び予測の結果	6.1.4-36
(4) 事後調査	6.1.4-166
(5) 環境監視	6.1.4-166
(6) 評価の手法	6.1.4-166
(7) 評価の結果	6.1.4-166
6.1.5 水環境(地下水の水位)	6.1.5-1
(1) 調査の手法	6.1.5-1
(2) 調査結果の概要	6.1.5-5
(3) 予測の手法	6.1.5-38
(4) 予測の結果	6.1.5-40
(5) 環境保全措置の検討	6.1.5-52
(6) 事後調査	6.1.5-54
(7) 環境監視	6.1.5-54
(8) 評価の手法	6.1.5-54
(9) 評価の結果	6.1.5-54
6.1.6 地形及び地質(重要な地形及び地質)	6.1.6-1
(1) 調査の手法	6.1.6-1
(2) 調査結果の概要	6.1.6-3
(3) 予測の手法	6.1.6-6
(4) 予測の結果	6.1.6-6
(5) 事後調査	6.1.6-7
(6) 評価の手法	6.1.6-7
(7) 評価の結果	6.1.6-7
6.1.7 動物(重要な種及び注目すべき生息地)	6.1.7-1
(1) 調査の手法	6.1.7-1

(2)調査結果の概要	6.1.7-5
(3)予測の手法	6.1.7-24
(4)予測の結果	6.1.7-29
(5)環境保全措置の検討	6.1.7-69
(6)環境影響を低減するために実施する対応	6.1.7-71
(7)事後調査	6.1.7-71
(8)環境監視	6.1.7-72
(9)評価の手法	6.1.7-72
(10)評価の結果	6.1.7-72
6.1.8 植物(重要な種及び群落)	6.1.8-1
(1)調査の手法	6.1.8-1
(2)調査結果の概要	6.1.8-4
(3)予測の手法	6.1.8-15
(4)予測の結果	6.1.8-19
(5)環境保全措置の検討	6.1.8-32
(6)環境影響を低減するために実施する対応	6.1.8-34
(7)事後調査	6.1.8-34
(8)環境監視	6.1.8-35
(9)評価の手法	6.1.8-35
(10)評価の結果	6.1.8-35
6.1.9 生態系(地域を特徴づける生態系)	6.1.9-1
(1)生態系の視点	6.1.9-1
(2)生態系典型性(陸域)	6.1.9-2
1)調査の手法	6.1.9-2
2)調査結果の概要	6.1.9-4
3)予測の手法	6.1.9-7
4)予測の結果	6.1.9-8
(3)生態系典型性(河川域)	6.1.9-10
1)調査の手法	6.1.9-10
2)調査結果の概要	6.1.9-12
3)予測の手法	6.1.9-17
4)予測の結果	6.1.9-18
(4)魚類等の迷入(特定外来生物の拡散を含む)	6.1.9-29
1)調査の手法	6.1.9-29
2)調査結果の概要	6.1.9-31
3)予測の手法	6.1.9-37
4)予測の結果	6.1.9-38
(5)環境影響を低減するために実施する対応	6.1.9-39
(6)事後調査	6.1.9-39
(7)環境監視	6.1.9-40
(8)評価の手法	6.1.9-40
(9)評価の結果	6.1.9-40
6.1.10 景観(主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観)	6.1.10-1
(1)調査の手法	6.1.10-2
(2)調査結果の概要	6.1.10-6
(3)予測の手法	6.1.10-8
(4)予測の結果	6.1.10-9
(5)環境保全措置の検討	6.1.10-10
(6)事後調査	6.1.10-12
(7)評価の手法	6.1.10-12
(8)評価の結果	6.1.10-12

6.1.11	人と自然との触れ合いの活動の場 (主要な人と自然との触れ合いの活動の場)	6.1.11-1
(1)	調査の手法	6.1.11-1
(2)	調査結果の概要	6.1.11-4
(3)	予測の手法	6.1.11-9
(4)	予測の結果	6.1.11-10
(5)	環境保全措置の検討	6.1.11-16
(6)	事後調査	6.1.11-20
(7)	評価の手法	6.1.11-20
(8)	評価の結果	6.1.11-20
6.1.12	廃棄物等(建設工事に伴う副産物)	6.1.12-1
(1)	予測の手法	6.1.12-1
(2)	予測の結果	6.1.12-1
(3)	環境保全措置の検討	6.1.12-2
(4)	事後調査	6.1.12-7
(5)	評価の手法	6.1.12-7
(6)	評価の結果	6.1.12-7
6.2	環境の保全のための措置	6.2-1
6.2.1	環境保全措置の比較検討及び内容	6.2-1
(1)	工事の実施における環境保全措置	6.2-1
(2)	土地又は工作物の存在及び供用における環境保全措置	6.2-6
6.2.2	環境影響を低減するために実施する対応	6.2-8
6.3	環境の状況の把握のための措置	6.3-1
6.3.1	環境の状況の把握のための措置の基本方針	6.3-1
6.3.2	事後調査の内容	6.3-2
6.3.3	環境監視等	6.3-3
6.4	事業に係る環境影響の総合的な評価	6.4-1

以下の内容は、「環境レポート(案)(2分冊の2)」に記載しております。

参考資料 - 1	水質資料	資 1-1
	資料 1. 放水地点の局所的な混合状況の調査結果	資 1-1
	資料 2. 河川水質モデルの検証	資 1-69
	資料 3. 局所混合モデルの検証	資 1-98
	資料 4. 河川水質予測結果	資 1-126
参考資料 - 2	動植物及び生態系の現地調査時期の設定理由	資 2-1
参考資料 - 3	確認種目録及び特定外来生物の目録	資 3-1
参考資料 - 4	木曽川水系連絡導水路環境検討会	資 4-1
参考資料 - 5	補足検討項目	資 5-1
参考資料 - 6	用語集	資 6-1

第1章 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

1.1 事業者の名称及び代表者の氏名

独立行政法人水資源機構
代表者 理事長 青山 俊樹

1.2 事業者の主たる事務所の所在地

独立行政法人水資源機構
郵便番号 330-6008
埼玉県さいたま市中央区新都心11番地2(ランド・アクシス・タワー内)
TEL 048-600-6500(代表)

独立行政法人水資源機構 木曽川水系連絡導水路建設所(所長 柳川 晃)
郵便番号 500-8367
岐阜県岐阜市宇佐南4丁目18番10号
TEL 058-278-2161(代表)